



国際ロータリー第2800地区 1959年6月9日創立

鶴岡ロータリークラブ

例会場 東京第一ホテル鶴岡 (鶴岡市錦町2-10)

例会日 毎週火曜日 (12:30~13:30)

令和6年3月12日(火) 第3045回 例会 (本年度第25回)

3月26日(火)	うどん打ち家族例会(華夕美日本海)
4月2日(火)	通常例会・理事会 ゲストスピーチ予定
4月9日(火)	クラブ休会
4月15日(月)	鶴岡西ロータリークラブ合同夜例会(いさごや)

Eメール◎tsuruoka08@rid2800.jp ホームページ◎<https://www.tsuruokarc.org/>



会長挨拶

会長/富田 喜美子

3月の花

春到来でたくさんの草花が咲き揃います。そこで3月の花屋さんの見どころと「ミモザの日」「国際女性デー」について紹介したいと思います。

花屋さんには桃の節句から始まり、ミモザの日、卒業式、ホワイトデー、彼岸などイベントのために多種多様な花が並んでいます。3月はこの季節にしか出会えない春の草花を楽しむ最後の月でもあります。

「ミモザの日」

ミモザの花は鮮やかな黄色の小さい花を房状に咲かせる魅力的な花です。「ミモザの日」は3月8日で国連が決めた「国際女性デー」にちなんで決められた日でイタリアが発祥になっています。この時期にはイタリアは黄色のミモザの開花で明るい空気に包まれているようです。男性が女性へこのミモザの花を送る日にもなっています。ミモザの花はこのシーズンに誰にでも安く買えます。黄色は春を運ぶ色とみなされていますし、愛や幸福の象徴ともされています。

「国際女性デー」

1904年3月8日にアメリカ、ニューヨークでパンと婦人参政権を求めてデモが起き、それが起源となって、1910年コペンハーゲンでの国際会議で「3月8日は女性の政治的自由と平等のために戦う日」と提唱されました。毎年3月8日は世界の女性が「パンと権利と平和」を求め一斉に立ち上がる日として様々なイベントが行われています。



ミモザの花を持つ富田会長

幹事報告

幹事/菅原 成規

○ガバナー事務所

スプリングキャンプ開催のご案内

日時: 3月16日(土)~18日(月)

場所: 華夕美日本海 会費: 34,000円

○鶴岡ローターアクトクラブ

ティティさんさん送別会・リュウチョウさん

大学卒業おめでとうの会

日時: 3月20日(水・祝日)

場所: いわい(予定) 会費: 5,000~6,000円

参加希望の方は3/15(金)まで連絡してください。

「サスティナ鶴岡」と「弁当の日」

ワッツ・ワッツ・ファーム 佐藤 公一氏



皆さんこんにちは。庄内空港近くの庄内砂丘で野菜の農家をやっております佐藤公一です。

農業の他に地元の料理人さん、農家さん、漁師さんとの一つのチームになって、「サスティナ鶴岡」と「弁当の日」

の上映会活動をしています。

この両団体の活動ですが、サスティナ鶴岡の方は庄内ザッコの齋藤君という料理人、弁当の日のドキュメンタリー映画の上映会は、キッチンふたばという洋食屋さんをやっている渡部英俊という私の同級生がそれぞれ始めました。

地域の料理人が主体となって、農家と漁師、町で食に関わる人全体で子供たちの未来を育もうと、21年の2月にサスティナ鶴岡は立ち上がりました。現在は鶴岡市内を中心にした料理人さん、我々農業

出席報告	会員数	23名
	出席	13名
	出席率	59.10%
	前々回確定出席率	68.19%

RI会長 ゴードン R. マッキナリー

地区ガバナー 伊藤 三之

会長/富田喜美子

副会長/上野欣一

幹事/菅原成規

会長エレクト/佐々木仁道

会報委員会/高橋隆人・佐藤友行・佐藤孝子

事務局: 山形県鶴岡市錦町2-68 鶴岡SSビル1F TEL (0235) 28-3375 FAX (0235) 28-3376

者、漁業者を始め約 120 名のメンバーが在籍しています。

活動のコンセプトとしては食を通して子供たちの未来を育むこと、活動のミッションとしては、自活力を育む、食料貧困や体験の貧困を減らす、地域の豊かな食文化と食材の魅力を伝える、農業・漁業・飲食業に携わる職業人を育むことを目標にしています。

一昨年から銀座通りの冬のイベント「日本海寒ダラまつり」にサスティナ鶴岡として出店し、子供たちが作った寒ダラ汁を子供たちが販売するという活動をしています。自分たちが作った料理がお金に変わる体験を学んでもらいました。最初はもじもじしていましたが、一人の子がメガホンを持ち出して、「いらっしゃいませ」「どうぞどうぞ」と言い出すとメガホンのとり合いになり、間近で見ていてとてもうれしく思いました。

サスティナ鶴岡の活動に関わってくれる料理人さん達も増えてきて、年 10 回のワークショップを行う「サスティナ学校」を始めました。6 月に豆腐や東北の料理を作ったり、7 月にメロンをハロウィンの時のカボチャみたいなイメージで中をくり抜いて食べ、外側をナイフで顔の形にして、その中をろうそくキャンドルを灯しランタンにするというようなワークショップをしました。8 月は庄内浜の飼育体験、10 月に 100 年森どのように日本海、11 月に天然キノコでキャンプメーク、1 月に味噌を仕込むというのをやりました。3 年間の延べ参加人数は 351 人で、スタッフも多くの大学生や高校生が参加してくれるようになっていきます。中央高さん、山大農学部さん、公益文科大学、芸工大、教育大の学生さんなどです。

続いてドキュメンタリー映画の「弁当の日」についてです。弁当の日というのは、お弁当を食べるというよりも、弁当を通して食を学ぶそのことを伝えてくれる映画です。子供が自分でお弁当を作って学校に持っていくという取り組みです。2001 年に香

川県の小学校でスタートし、日本各地に広まりました。何を作るか決め、買い出しも調理もお弁当箱に詰めるのも後片付けも全部親の手を借りずに子供自身で行います。先生や親はその出来具合を評価も批評もしないで、5 歳の保育園児、小学生、中学生、高校生、大学生それぞれが作ってもらうから作るへ目覚めていくきっかけとなる映画になっています。

この活動の原点は 3 年前から実施していることも料理教室です。昨年の実績ですが、2 月から月 1 の開催です。初日は猛吹雪で 8 人しか集まりませんでした。回を重ねて最終的には 600 人ぐらいの人たちに見てもらうことができました。1 年間やってきて良かったなと思いました。

映画を見た遊佐の高校生が、お弁当の日を自分の高校に持ち帰って、自分たちでやってみるという動きが起きました。私達が思っていたことが誰かに伝わったとても感動的な出来事でした。

昨今子供の数が少なくなってきて、一人に対しての親の熱量、関わりの時間が増えていきます。子供からすると、それが鬱陶しいというのはよく聞きます。この弁当の日の映画を見ると、自分が作った料理を誰かに食べてもらうとか、誰かのことを考えながら、自分の時間を料理に使っているということを考えさせてくれますのでお勧めしています。

コロナの中で始まった活動なので、料理人さんはその始まりの当時は時間がいっぱいあって、もう打ち合わせするにも活動をするにも、いつでもどこでも大丈夫だよという部分がありましたが、通常営業に近い流れになってきている中で、更にこの活動を続けていかなければいけないという思いを現実のものにするには、結構なハードルが出てきていると感じています。今年はユネスコ 10 年の年でもあるので、食に関わる一人の大人として、この活動も鶴岡市にもっとしてもらいたいし、まだまだやりたいことがあるので、皆さんからも御協力をしていただければと思います。

ご清聴どうもありがとうございました。

東京東江戸川 RC との合同レクリエーション

3 月 19 日（火）～3 月 20 日（水）於：日光

参加者：菅原成規君、富樫松夫君、佐藤友行君



😊 スマイル

富田喜美子君 佐藤さん、ご多用中卓話ありがとうございました。

菅原 成規君 公一さん、ありがとうございました。

佐藤 孝子君 佐藤公一さん、新しい情報ありがとうございました。3月9日PETS参加の皆さんご苦労様でした。

末次 大介君 長らく欠席しており申し訳ございません。
佐々木仁道君 先週末PETS会長エレクト研修セミナーに参加してきました。予想以上に濃厚な研修でした。来期会長として意識が高まった気がします。重ねてのお願いですが鶴岡RCの役割につきまして配置を考えさせて頂きました。笑顔でご承諾ください。お願いいたします。

上野 欣一君 佐藤様のお話に感動しました。これからの増々の発展を心から願います。

高橋 弘美君 佐藤さん、急なスピーチ依頼にも関わらず快くお引き受けいただきありがとうございました。

佐藤 詩郎君 佐藤公一さん、スピーチありがとうございました。